

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

| | | | | | | | | | | |
|--|------------------------------|--------------|--------------|-------------|------|------------------------------|---------|---------------------------|-----|---------------------------|
| 事業番号 | | | | | | | | | | |
| ◆ D - 2 0 - 4 - 1 | | | | | | | | | | |
| 事業名 | | | | | | | | | | |
| 津波避難誘導標識等設置工事 | | | | | | | | | | |
| 事業費 | | | | | | | | | | |
| 総額 28,497,960 円 | | | | | | | | | | |
| 年度 | 種 類 | 総 額 | 内交付金分 | 内町単独分 | | | | | | |
| H26 | 工事設計費 | 5,724,000 円 | 3,913,000 円 | 1,811,000 円 | | | | | | |
| H27 | 工 事 費 | 22,773,960 円 | 15,486,292 円 | 7,287,668 円 | | | | | | |
| | 計 | 28,497,960 円 | 19,399,292 円 | 9,098,668 円 | | | | | | |
| 事業期間 | | | | | | | | | | |
| 平成 2 6 年度～平成 2 7 年度 | | | | | | | | | | |
| 事業目的・事業地区（別紙として地図を添付） | | | | | | | | | | |
| <p>津波防災対策調査事業（D-20-4）の中で実施した津波防災対策調査において、住民とのワークショップを行った際に避難経路の確認をしている中で、津波時に沿岸地区の住民や当町を訪れる観光客が効率よくかつ迅速に避難するためには、分かりやすい表示の避難誘導標識や夜間の避難に対応するための照明灯設置が必要との意見があったことから、効果促進事業により、当町沿岸地区に、津波時における避難誘導標識等の設置を行う。</p> | | | | | | | | | | |
| 事業結果 | | | | | | | | | | |
| <p>H26 年度 工事設計 H27 年度 設置工事 （工事概要）</p> <table border="0"> <tr> <td>誘導標識</td> <td>89 箇所（内交付金分 61 箇所、単費分 28 箇所）</td> </tr> <tr> <td>ソーラー照明灯</td> <td>9 箇所（内交付金分 6 箇所、単費分 3 箇所）</td> </tr> <tr> <td>案内板</td> <td>9 箇所（内交付金分 6 箇所、単費分 3 箇所）</td> </tr> </table> | | | | | 誘導標識 | 89 箇所（内交付金分 61 箇所、単費分 28 箇所） | ソーラー照明灯 | 9 箇所（内交付金分 6 箇所、単費分 3 箇所） | 案内板 | 9 箇所（内交付金分 6 箇所、単費分 3 箇所） |
| 誘導標識 | 89 箇所（内交付金分 61 箇所、単費分 28 箇所） | | | | | | | | | |
| ソーラー照明灯 | 9 箇所（内交付金分 6 箇所、単費分 3 箇所） | | | | | | | | | |
| 案内板 | 9 箇所（内交付金分 6 箇所、単費分 3 箇所） | | | | | | | | | |
| 事業の実績に関する評価 | | | | | | | | | | |
| <p>事業計画では、避難誘導標識を設置することにより効率よくかつ迅速に避難経路による避難を行うことが可能となり、沿岸地区の住民や観光客の安全を確保できる。</p> <p>また、ソーラー照明灯により夜間の避難時に、避難者が持つ照明灯以外に</p> | | | | | | | | | | |

も照明を確保できることから、より一層の安全が確保される。

案内板には、観光客や新規の転入者が避難経路に迷わないように、目印となる場所を表示し、迅速な避難を確保できる。

以上の事業実績により、沿岸地区の住民や観光客の避難に大きな効果が得られ、迅速かつ安全な避難を誘導できると考えられる。

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

整備後において、実際に避難誘導標識や避難経路等の位置等を確認しながら、約150名が参加した自主防災組織における避難訓練が行われた。

訓練に参加した住民からは、「避難する方向が分かりやすく、実際に避難するときは慌ててしまうので、標識があると避難しやすい。地震により停電になった夜間でも、ソーラー照明灯があり助かる。」という声も上がっている。

本事業により、津波時における沿岸地区の住民や観光客の安全確保の向上性が図られており、事業の有用性が高いものと考えられる。

② コストに関する調査・分析・評価

本事業の積算・設計に当たっては、青森県積算基準等に基づいていることから、本事業のコストは、妥当であると評価できる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

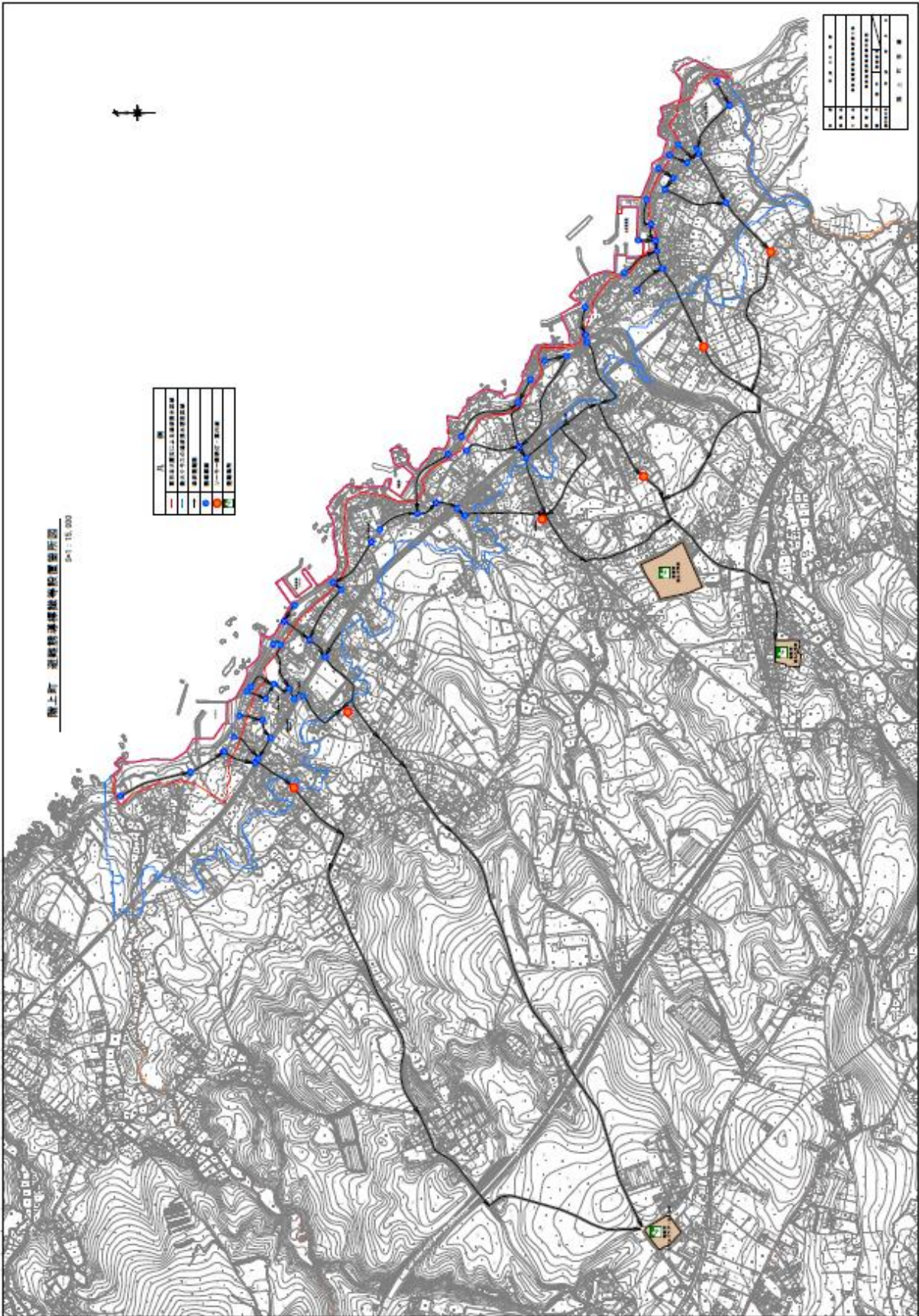
| 項目 | 想定事業期間 | 実際の事業期間 |
|----|---------------|---------------------|
| 設計 | H26. 5～H26.12 | H26. 6. 3～H27. 1. 9 |
| 工事 | H27. 5～H27.12 | H27. 8.24～H28. 3.31 |

設計については、想定事業期間とほぼ同時期に完了したが、工事については、設置場所用地の所有者からの承諾に時間を要したため工事期間が約3か月延伸したが、事業年度内に完了することができたため、全体を通して特に問題ないものと評価する。

また、避難誘導標識等を設置することにより、効率よくかつ迅速に避難を行うことが可能となり、沿岸地区の住民や観光客の安全確保につながっており、本事業の事業手法は妥当であると評価できる。

階上町課総務課 電話番号 0 1 7 8 - 8 8 - 2 8 7 3 (内線 2 1 4)

【避難誘導標識等設置個所】



【誘導標識】



【ソーラー照明灯及び案内板】



【案内板】

